管機連Daily News

2025年3月31日（月）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心に抜粋　～

◆都区部物価3年連続2%超　24年度は2.1%、食料高強く

・東京都区部の消費者物価指数が3年連続で2%を上回った。総務省が発表した2024年度平均の消費者物価指数（中旬速報値、2020年=100）は生鮮食品を除く総合で前年度比2.1%上昇した。コメ価格の高騰が続いたほか、チョコレートなどの輸入価格の高騰も影響した。23年度は2.7%、22年度は2.9%の上昇だった。

◆業種別の省力化投資、今後5年で集中支援　新資本会議

・政府は「新しい資本主義実現会議」を開き、中小企業による経営改革を促すための施策を議論した。2029年までの5年間を集中取り組み期間と位置づけ、産業用ロボットなどによる「省力化投資」を後押しする。特に人手不足が深刻な業や宿泊業といった業種ごとにきめ細かく支援を進める。

◆4月の電気代、全社で値上がり　政府補助が3月分で終了

・大手電力10社は5月請求分（4月使用分）の家庭向け電気代を発表。1~3月使用分が対象の政府補助が終了するほか、再生可能エネルギー普及のため電気料金に上乗せしている賦課金も増額となり、10社すべてで値上がりする見通し。各社が平均的と定める電力使用量に基づくと、前月と比べて385～465円値上がりする。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆大阪ガス系、エネファームで不適切販売919件

・大阪ガスは家庭用燃料電池「エネファーム」の販売で光熱費の削減効果を過大に見せる資料を顧客に示す不適切な行為が919件あったと発表。2020年4月から24年8月まで続き、子会社である大阪ガスマーケティングの営業担当者25人が関わっていた。大ガスは景品表示法違反の恐れがあるとし、消費者庁に報告した。

◆災害支援物資を分散備蓄、全国7地域の新たな拠点を決定

・坂井学防災相は災害用支援物資の備蓄拠点について宮城県や兵庫県など新たに5カ所明らかにした。2月に公表した札幌市、高知県、熊本県と合わせて予定していた7地域すべてを公開。新たな5カ所の備蓄拠点は宮城県、愛知県、兵庫県、福岡県、沖縄県糸満市に設置。求めを待たずに救援物資を送る「プッシュ型支援」の体制を充実させる。

◆2月の国内建設受注額2%減　官公庁が押し下げ

・日本建設業連合会が発表した2025年2月の国内建設受注額は、前年同月比2%減の1兆2611億円。マイナスは24年11月以来3カ月ぶり。民間発注は好調だったものの、官公庁からの受注が大幅に減。官公庁からの受注が13%減の3839億円で、そのうち国の機関からの受注が23%減の2652億円と押し下げた。

≪　注目商品　≫

■ハウステック 1坪サイズのサウナ＋シャワールーム

・サウナとシャワールームを組み合わせた「Lillä Sauna（リラサウナ）」を発売。サウナとシャワールームを1坪サイズのユニットに.。システムバスルーム工法のプライベートサウナ。サウナとシャワールームがつながり、サウナでかいた汗をすぐにシャワーで流すことができる。

■パナソニック 、マンション向けバスルーム「MR」

・さまざまなインテリアにマッチする「マーブル柄」3色、「木目柄」1色、「ソリッドカラー」3色など計11色を追加。カウンターや鏡をなくし、水アカがつきにくい「スゴピカ素材」を使用した浴槽、ノイズレスに納まり上質な空間を演出する「フラットラインLED照明」を搭載。

■YKK AP、樹脂製内窓「かんたん ウチリモ 内窓」引違い窓

・取り付け部の見込み寸法が最小47mmあれば設置可能な樹脂製内窓「かんたん ウチリモ 内窓」引違い窓を7月7日から全国発売。内窓の取り付け寸法を従来品より23mm小さくすることで、取り付け対応力向上、施工時間も短縮。